

インフルエンザ流行注意報発令

○ 発生状況

感染症発生動向調査において、インフルエンザ患者の1定点医療機関あたり(47 定点医療機関)の報告数が、令和5年第42週(令和5年10月16日～令和5年10月22日)で11.55人となり、流行注意報発令の基準値である1 定点医療機関あたり10人を上回りました。

今後、さらに感染が拡大する可能性がありますので、流行情報に注意していただき、一人ひとりが、手洗いや咳エチケットの励行など、インフルエンザ予防対策を、心がけてください。

今後、1 定点医療機関あたり30人で流行警報を発令します。

県民の皆様、インフルエンザ予防対策の実践をお願いします。

《かからないために》

- こまめに手洗いをしましょう。
- 人混みや繁華街への外出を避けましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養をとりましょう。
- 室内の湿度を適切(50～60%)に保ち、乾燥に気をつけましょう。

《人にうつさないようにするために》

- 咳やくしゃみのある時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りから顔を背け1～2m離れましょう。
- 使用後のティッシュは、蓋つきのゴミ箱にすぐ捨てましょう。
- 口や鼻を押さえた手や腕は、よく洗いましょう。
- 外出はできるだけ控えましょう。

《医療機関を受診する時の注意点》

- 医療機関でのルールを守り、具合が悪ければ早めに受診しましょう。
- 受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。

《高齢者や乳幼児、基礎疾患のある方など》

- インフルエンザにかかった時に重症化のリスクが高いといわれています。
心配なことがあれば、あらかじめ、かかりつけの医師と対応を話し合っておきましょう。

《予防接種》

- インフルエンザワクチンは、発症した場合の重症化防止に有効と報告されており、特に高齢者や基礎疾患のある方など、重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。
- ワクチン接種を希望される方は、あらかじめ医療機関に連絡のうえ、接種しましょう。

○ インフルエンザの患者数の推移

※インフルエンザの定点医療機関数 47 医療機関

	香川県		全 国	
	患者数	定点あたりの患者数	患者数	定点あたりの患者数
第34週(8月21日～8月27日)	52	1.11	6,910	1.40
第35週(8月28日～9月3日)	47	1.00	12,638	2.56
第36週(9月4日～9月10日)	63	1.34	22,111	4.48
第37週(9月11日～9月17日)	151	3.21	34,665	7.03
第38週(9月18日～9月24日)	171	3.64	35,021	7.09
第39週(9月25日～10月1日)	142	3.02	47,346	9.57
第40週(10月2日～10月8日)	138	2.94	49,212	9.99
第41週(10月9日～10月15日)	236	5.02	54,709	11.07
第42週(10月16日～10月22日)	543	11.55	81,160	16.41

	基 準	2023-2024シーズン	2022-2023シーズン	2019-2020シーズン
流行入り	1人/定点あたり	継続中 ←	令和5年1月13日 令和5年9月1日	令和元年12月6日
流行注意報	10人/定点あたり	令和5年10月27日	令和5年2月8日	令和元年12月25日